英語	第３学年	熊野町立熊野東中学校	指導者　永田誠子

単元名

Program2「Volcanoes in Japan」

自分の行ってみたい世界遺産を5文以上で書こう

令和２年７月８日（水）３校時３年３組（３年３組教室）

本単元で育成する資質・能力　高い志・粘り強さ・他者理解

単元について

中学校学習指導要領（平成 20 年）では,「書くこと（ウ)」において「聞いたり読んだりしたことについてメモをとったり，感想，賛否やその理由を書いたりなどすること」となっている。

本単元は，太郎が鹿児島に引っ越して，鹿児島の観光地や桜島の活火山について書いた手紙を桃子に送った。そして，火山に興味をもった桃子が，日本の火山について口頭で発表し，富士山や浅間山の活動状況について，詳しく言及する場面が設定されている。また，日本の世界遺産について学び，日本が素晴らしい自然や歴史をもっている国であることを知る。自分の国の歴史や伝統文化を学び,郷土に対する自信と誇りをもつことにより，他国の歴史や伝統文化を尊重する心を養う。

日本の火山について具体的な数字をあげて説明する文章や，世界遺産について説明した文章を読み,それらを参考にして,地域の歴史などについて,英語で発信する場を与える。

言語材料としては，Program1 に引き続き，現在完了形の「継続」「経験」が扱われている。自分自身のことについて表現をすることができる文法である。

生徒の実態

３年３組の生徒は,授業に前向きに取り組んでおり，発表も意欲的である。今年６月に行った生徒アンケートでは,「英語の授業がよく分かる」と肯定的に答えた生徒は，86.2%であり，多くの生徒が英語の必要性を感じており，授業にも前向きに取り組んでいる。しかし,「英語の授業では，英語で文章を書くときは，自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように，一文一文を正しく書くこととともに，文と文のつながりに注意しています。」と肯定的に答えた生徒は，65.5%にとどまっている。また，英文を書くことが苦手な理由として，単語や文法が覚えられていないことや，文の構成が難しいという意見があった。単語や文法の定着を図るために日々の授業に帯学習として復習も取り入れて指導していく。

単元の指導

本題材で扱う文法事項は現在完了形「継続」と「経験」である。導入では，過去形と現在完了形を比較し，現在完了形が過去から現在までつながっていることを指導していく。また，自分がずっと継続していること，そして経験したことがあることについて繰り返し自己表現したり，質問したりすることにより，定着させていく。

本学年は２年時の修学旅行で大使館を訪問し，自分たちが住んでいる熊野の歴史や文化について紹介をした。今度は自分が行ってみたい世界遺産の情報を調べ，伝えたい内容を選び，紹介する文を書かせていく。その際に，つながりを意識させるとともに，相手に伝わりやすくするにはどうしたら効果的かを考えさせていく。友だちの意見を聞いたり，友だちの英文を読んだりすることで，友だちの考えを参考に，自分で考えて英文を書いたり，具体的な数字や出来事を書いたりして，伝わりやすいように工夫して書けるように指導していく。

単元の目標

○　相づちをうったり，メモを取ったりするなどして，聞いたり読んだりしたことに興味・関心をもっている。【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○　自分が行ったことのある，または行ってみたい世界遺産を，現在完了を使って５文以上の英文で書くことができる。【外国語表現の能力】

○　現在完了形が使われた英文を読んだり聞いたりして，内容を理解することができる。【外国語理解の能力】

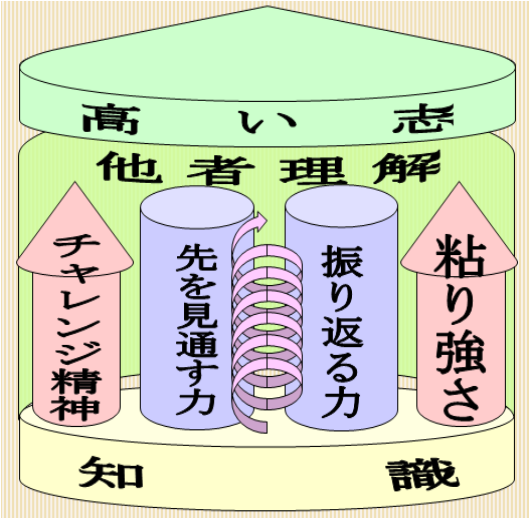
○　現在完了形の文構造を理解できる。【言語や文化についての知識・理解】

単元の評価規準

ア　コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ　外国語表現の能力	ウ　外国語理解の能力	エ　言語や文化についての知識・理解
①　相づちをうったりメモをとったりするなど，相手の話に関心をもって聞いている。 ②　読んだことについて，メモをとったり簡単な言葉で反応したりしている。 ③　上手く書けない所があっても知っている表現を用いて書き続けている。	①　自分が行ったことのある，または行ってみたい世界遺産を，現在完了を使って５文以上の英文で書くことができる。 ②　正しい強勢，イントネーション，区切りなどを用いて音読することができる。	①大切な部分を読み取ったり聞いたりして理解することができる。	①　現在完了形「継続」の文法の知識を身に付けている。 ②　現在完了形「経験」の文法の知識を身に付けている。

育成しようとする資質・能力の本単元とのかかわり

本校が身につけさせたい７つの力



〈高い志〉
○　自分の国の歴史や伝統文化を学び，郷土に対する自信と誇りを持つ

〈知識〉
○

〈振り返る力〉
○

〈先を見通す力〉
○

〈チャレンジ精神〉
○

〈粘り強さ〉
○　書くのが難しくても，既習の文法や単語を使い，英文を書くことができる。

〈他者理解〉
○　相手に伝わりやすい表現を考え，また，相手の紹介文に対してアドバイスすることができる。

指導と評価の計画

（全１０時間）

次	学習内容（時数）	評価					
		関	表	理	知	評価規準 （評価方法）	資質・能力の評価 （評価方法）
1	課題の設定 ○program2(1) ・Basic Dialog を練習する。 ・現在完了形「継続」の意味，使い方を理解する。 ・現在完了「継続」が使われている英文を聞き，内容を理解する。 ・自分がこれまで継続していることを言うことができる。 ・新出単語の練習をする。 ・P.17 の本文を理解する。 ・P.17 の本文を音読する。 ・P.17 の Q&A に答える。 （２時間）		◎ ○		○	エ① （ワークシート）（後日テスト） イ② （後日音読テスト）	

2	○program2(2) ・Basic Dialog を練習する。 ・現在完了形「経験」の意味，使い方を理解する。 ・現在完了「経験」が使われている英文を聞き，内容を理解する。 ・自分が行ったことのある場所とその回数について言うことができる。 ・新出単語の練習をする。 ・P.19 の本文を理解する。 ・P.19 の本文を音読する。 ・P.19 の Q&A に答える。 （２時間）		◎ ○		○	エ② （ワークシート）（後日テスト） イ② （後日音読テスト）	
3	○program2(3) ・新出単語の練習をする。 ・P.19 の本文を理解する。 ・P.19 の本文を音読する。 ・P.19 の Q&A に答える。 ・日本にある世界遺産についての英文を読み，内容を理解し，音読練習をする。 （３時間）	○	○	◎		イ② （後日音読テスト） ア② （活動の観察） ウ① （ワークシート）	
4	情報の収集 ・桃子の発表を参考にして，英文の書き方を知る。 ・いろいろな世界遺産を調べる。 整理・分析 ・今までの情報をもとに，自分が書きたい内容について，ワークシートにまとめる。 （１時間）	◎		○		ア① （活動の観察） ウ① （ワークシート）	

5	まとめ・創造・表現 ・自分が行ったことのある，または行ってみたい世界遺産について，現在完了形を使って５文以上の英文で書くことができる。 ・友達が書いた英文を読んで，内容を理解し，感想や質問，アドバイスを書く。 振り返り ・友達の質問やアドバイスをもとに，自分の英文を修正する。 （１時間）	○	◎ ○			イ① （ワークシート） ア③ （活動の観察） イ① （ワークシート）	振り返る力 （ワークシート） 粘り強さ （観察） （ワークシート） 他者理解 （観察） （ワークシート）
6	・音読テスト （1 時間）		◎			イ② （後日音読テスト）	

本時の学習（９／１０時間）

（１）本時の目標

自分が行ったことのある，または行ってみたい世界遺産についての特徴を，現在完了形を使い５文以上の英文を書くことができる。

（２）本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項（◇） 「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て（◆）	評価規準 （評価方法）	資質・能力の評価 （評価方法）
１　帯活動（１０分）			
○あいさつをする。 ○Ｑ＆Ａ ○読みトレ ・個人で黙読をする。 ・ＡＬＴがＱ＆Ａをする。 ・ＡＬＴの音読を聞く。	◇声の大きさと，４秒礼を意識させる。 ◇質問に対して答えさせ，繋がりがある文をもう一文付け加えさせる。 ◇前回の自分と比べて速くなったかを挙手させる。 ◆答えのヒントを与える。		
２　復習（１０分）			
○単語の復習 ○ペアチャレンジ ・一分間で単語を読み合う。 ○本文の音読練習	◇テンポ良く繰り返し練習させる。 ◆読めない単語は繰り返し練習させる。 ◇前回よりもたくさん答えられるように声かけをする。 ◆チャンクごとに切って音読をさせる（ＡＬＴ指導）		
３　本時のめあてを確認する（２分）			
○本時のめあてを自己評価カードに書く。			
【本時のめあて】自分が行ったことのある，または行ってみたい世界遺産について５文以上の英文を書くことができる。			
４　ＡＬＴの世界遺産の発表を聞く（５分）			
○ＡＬＴの発表を，メモを取りながら聞く。	◆生徒の様子を見ながら，難しい場合は簡単な単語に言い換えてもらったり，ジェスチャーを使ったりして説明させる。		
５　現在完了形を使い，５文以上の英文を書く。（１５分）			
○ＡＬＴの発表や，前回のワークシートを参考にしながら書く。		イ①（ワークシート） ア③（活動の観察）	粘り強さ②（観察）（ワークシート）

【「おおむね満足できる」状況（Ｂ）と判断する根拠】
○現在完了を使って世界遺産の歴史的背景や特徴について，５文以上の英文を書いている。
〈記述例〉
This is Chusonji. It is in Iwate. It was built by Fujiwara Kiyohira. It has been on the World Heritage List since 2011. It is famous for Konjikido

【「十分満足できる」状況（A）と判断する根拠】
〇（B）をふまえて，他人の意見を参考に，自分で考えて英文を書いたり，具体的な数字や出来事を書いたりして，伝わりやすいように工夫している。
〈記述例〉
This is Chusonji. It is in the south of Iwate. It was built by Fujiwara Kiyohira in 1124. It has been on the World Heritage List since 2011. It is famous for Konjikido Golden Hall. I have never been there so I want to go there some day.

【「努力を要する」状況（C）と判断する生徒への手立て】
◆紹介文で使えそうな表現を載せたヒントシートを用意し，それを参考に考えさせる。

〇グループ内で交流する。 ・ワークシートを交換して読み合う。 【対話的な学習場面】 お互いの英文を読むことで，友だちから英文の書き方や考えを学ぶ。	◇読み終わった後，わかりやすい点に線を引いたり，質問やアドバイスを書いたりするよう助言する。		他者理解③ （観察） （ワークシート）
6　振り返る（5分）			
〇友達のアドバイスをもとに自分の英文を修正したり，付け加えたりする。		イ① （ワークシート）	
7　本時のまとめと次時の確認をする。（3分）			
〇自己評価カードの記入 〇次時の確認	◇本時でできるようになったことと，これから挑戦したいことを書かせる。		

（3）板書計画

本時のめあて：自分が行ったことのある，または行ってみたい世界遺産について5文以上の英文を書くことができる。

ハナ先生の発表

ハナ先生が行きたいと思う紹介を書くためには
・場所の魅力を伝える
・具体的な数字を使う

授業の流れ
①Greetings
②Daily Questions
③Crisscross
④読みトレ
⑤Word review
⑥ペアチャレンジ
⑦Listening
⑧Writing